

右折レーン設置による混雑緩和対策

・国道227号の北斗市追分交差点では、拡幅することなく既存の中央分離帯を一部撤去し、右折レーンを設置。

・右折待ち車両と直進車両による交通混雑が軽減し、旅行速度の向上に成功。

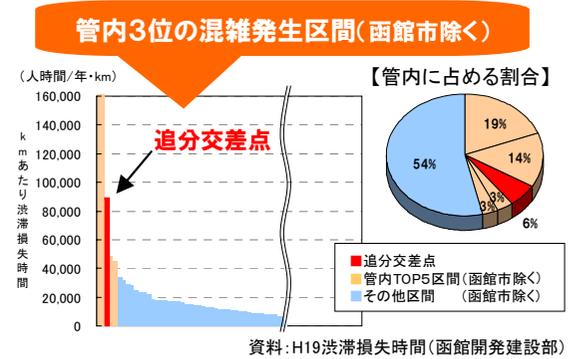
・交通混雑が軽減したことにより、追突などの交通事故の大幅な削減にも成功。



■慢性的な交通混雑が発生

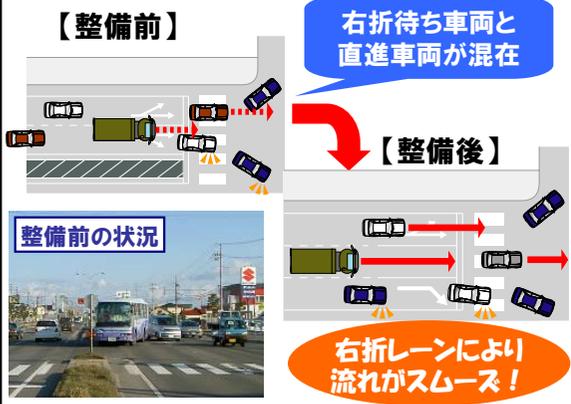
当該区間は支庁間を結ぶ幹線道路で、慢性的な交通混雑が発生しており、函館市を除く管内TOPクラスの渋滞損失時間の発生区間です。

【管内における渋滞損失時間（函館市除く）】



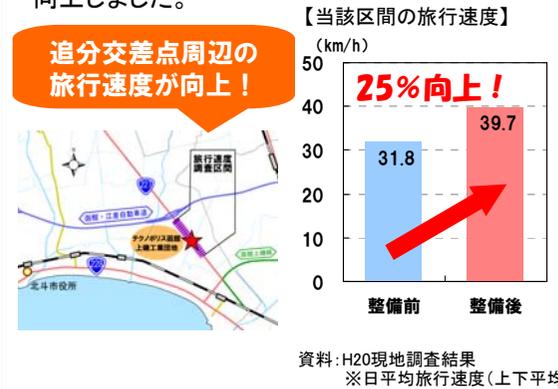
■右折レーンの設置

右折待ち車両による交通混雑の発生を抑制するために、中央分離帯の一部を撤去・利用し、右折レーンを設置しました。



■旅行速度の向上

整備前後でプローブ調査を実施したところ、整備前で30km/h程度であった追分交差点周辺の旅行速度が、整備後は40km/h前後と大幅に向上しました。



■交通事故の減少

交差点部において発生していた追突などの交通事故が、右折レーンの設置によって大幅に削減されました。

